

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	-	-	-
	変わらない	一般小売店〔酒 類〕（経営者）	販売量の動き	・飲食店の売上が悪いままである。
		一般小売店〔書 籍〕（営業担 当）	お客様の様子	・本は単価が安く、読書は安価で余暇を過ごすことができるので、売上が極端に落ちこむということはない。
		百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・消費者が本当に必要なものは、安い時期に買い置きするというふうには、上手な買い方をするようになってきている。消費者の1つの生活防衛である。
		百貨店（販売促 進担当）	競争相手の様子	・近隣にSCの新規オープンもあり、週末や初売りの客数に影響が出ている。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・本県は、メディアで報道されている以上に経済状態が悪くなっている。特に自動車産業はマイナスのことばかりが多くあり、販売量が伸び悩んでいる。
		通信会社（管理 担当）	販売量の動き	・来客数の動きはやや減少傾向にあるが、販売量に大きな変化は見受けられない。
	やや悪く なっている	商店街（代表 者）	単価の動き	・年明けの初売り、特に福袋等の出足はなかなか好調であったが、クリアランスや冬のバーゲンになり、商品単価がかなり低下している。安い物でも買い控えが店頭で見受けられる。
		百貨店（売場担 当）	販売量の動き	・美術品の高額商品の売行きが極端に悪く、インテリア関連商品もクリアランスセールで値下げした特価品は売れるが、定価商品の売行きは極端に悪い。
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・特売商品も、今までの値段設定では販売量が落ちてきている。
		スーパー（店 長）	単価の動き	・客から価格についての話を聞く機会が増え、客が価格に敏感になっていると感じる。低価格品、特売品の販売量が増加した。
		スーパー（企画 担当）	販売量の動き	・気温の変化に対して売上が敏感でなくなってきており、今、手元にあるもので済ませている様子である。バーゲンセールも12月末から百貨店等が行っており、動きは非常に悪かった。
		コンビニ（総 務）	販売量の動き	・売上の内訳が変わってきている。たばこ以外の一般商品の売上が低下し、たばこの売上が伸びている。必要な商品以外の買い控えが出ている。
		衣料品専門店 （経営者）	販売量の動き	・1月はセール月であるが、初売りからずっと前年比80%台後半の売上が続いている。今年は、例年初日で完売する「福袋」の売れ残りも目立った。後半に入り、再値下げしても前年を上回る週が一度もない。
		乗用車販売店 （管理担当）	来客数の動き	・ショールームへの来店客がほとんど無い。
		一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・同業者や酒屋、材料の配達人等に話を聞いても、一様に深刻な景気の悪さで、注文がないと嘆いている。
		一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・昨年出店した競合店が営業を強化してきており、客の取り合いが激しくなっている。
		観光型旅館（経 営者）	来客数の動き	・昨年12月から年末年始に掛けては、前年より客が多かったが、正月明けから、かなり客の予約、宿泊人員が減ってきた。地元の宴会等はそこそこある。
		旅行代理店（従 業員）	販売量の動き	・国内航空券の動きが悪くなり前年割れとなった。企業が業務出張を抑えている。海外航空券も企業からの依頼が大幅に減少している。しかし、韓国へのツアーは活況を呈しており席が取れない状況が続いている。韓国のウォン安で旅行代金も安く、割安感で人気が出ている。
	通信会社（社 員）	それ以外	・地元でも規模の大きい法人顧客などの倒産が相次いでいる。	
	通信会社（支店 長）	お客様の様子	・個人消費、雇用の低迷、ボーナスを含む収入の減少で客の動きが低迷している。	
	観光名所（経営 者）	来客数の動き	・観光客数が前年同月比10%強少なくなっている。	

		設計事務所（所長）	お客様の様子	・マンションの計画依頼が非常に少なくなった。
		設計事務所（職員）	販売量の動き	・仕事量が前年度比4～6割減少しており、売上もこれに準じて大幅な減少である。同業他社並びに業界全体も同様である。あいさつ回りや神事、互礼会といった年始の恒例活動も縮小・中止している状況である。
悪くなっている		商店街（代表者）	お客様の様子	・国民が弱気になっていることとマスコミの過度なあり、政治の不安定さが絡み合ってスパイラル状態になっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・通行量が前月に比べ約21%低下している。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・前年同月に比べ来客数及び売上高共に前年を下回った。食品類は前年を確保したが、前月同様、総じて下回った。特に宝飾品を含むラグジュアリー商品、感性の高い商品ほど苦戦した。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・最近、自分で調理する人が増えているといわれているが、客の購買行動にも、それがよく現れている。肉や青果など、素材の売上は良いが、総菜の売上の伸びが鈍い。単価が下落傾向である。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・土木、建設、製造業に従事する方から「かつて経験がないほどどん底である。」という話を非常によく聞く。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・通常1月はバーゲン月であり来店数が多いはずであるが、来店数は減っている。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・約3か月間、買上客数が前年と比べ5%以上続けて低下している。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・大企業の赤字決算、従業員の解雇等の報道が続き、新車への乗り換えを予定していた人も二の足を踏んでいる。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売台数、前年比、営業利益共に過去最悪である。大手自動車メーカーの販売店では危機的なところもあり、非常に不安な状態が続いている。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・自動車業界の不景気についてマスコミが騒ぎ過ぎ、客が購買意欲を無くしている。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・年末からの客の動きが非常に悪くなっている。正月明けは例年悪いものの、徐々に回復してくるという基調があるが、今年は全く人が動かない。市内の宿泊客もレストランの利用が少なく、不況感が強まっている。
		タクシー運転手	単価の動き	・年明けより客の利用回数、単価共に下降気味である。正月3日間は、利用者も前年並みであったが、その後は悪くなった。
		タクシー運転手	お客様の様子	・客単価等がずいぶん低下した。病院等の送迎も少なくなっている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・昼も夜も暇で、タクシーがあふれかえっている状況にあり、昨年に比べ約3割減となっている。特に、夜は飲み屋も閉まっているところが増え、飲みに出る客がいない。タクシーもほとんど乗らないという非常に厳しい状況である。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・観光客は個人、団体客共に減少している。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・不景気、個人消費の落ち込みが大きな原因で、来場者、予約率共に、前年より非常に悪い。
		美容室（経営者）	単価の動き	・高額メニューが特に少ない。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数、単価、売上すべてにおいて、3～4割減少している。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
変わらない	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・現在、受注残をこなしている状況なので、景気は一定であるが、先が少し読めない。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共、民間共に、仕事そのものが少なく、競争も激しいため、受注が伸びない。	

やや悪くなっている	繊維工業（経営者）	取引先の様子	・月初から小売店の発注ロットが細かくなっており、店頭での消費者の購買単価の下落、購買不振が顕著になってきた。マスコミの不況報道や雇用情勢の悪化により、明らかに消費は厳しい状況になっている。	
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・原料や重油等の価格が低下してきたが、小売より値下げ要請が大変強く、下げざるを得なくなっている。	
	通信業（部長）	受注量や販売量の動き	・販売数量の落ち込みは依然続いているが、対前月比では減少傾向にあるものの、その幅は小さくなってきている。しかし、低価格商品への志向は強く、購買に慎重な姿勢がみえる。	
	金融業（融資担当）	取引先の様子	・取引先の大型倒産、運転資金の需要、保証協会の緊急制度融資の利用等が非常に多くなっている。	
	悪くなっている	鉄鋼業（総務・人事統括）	受注量や販売量の動き	・取引先各社の業績の下方修正や雇用調整等の報道が相次いでいる。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・工事が延期や中止になった影響で、少ない仕事を奪い合う状況が出てきており、チャーター料金の安値競争が再燃している。
		建設業（総務担当）	それ以外	・地元大手のマンション業者が今月倒産した。地元の建設下請業者の間では、次はどこが危ないといった噂が飛び交い、不安感を助長している。
		輸送業（社員）	受注量や販売量の動き	・製紙業や自動車関連では、操業停止や出荷調整を継続実施している。また、輸出関連についても円高により輸出数量が減少している。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・初荷としての出荷は年を追って減少してはいたが、今年は、そのにぎわいはまったく見られなかった。中旬以降の物量も前年割れが続いている。
		通信業（営業担当）	それ以外	・顧客である法人企業等のマネージャークラスとの会話の中で、「世界同時不況が実体経済にまで影響が出て来ている。」など、暗い話や不景気な話題しか出てこない。
広告代理店（経営者） 公認会計士		取引先の様子 取引先の様子	・ホテル、流通、金融等の多くの取引先が厳しい状況のため、広告費削減依頼が増えている。 ・顧問先の決算書、試算表を見てみると、前年比でかなり悪化しているところが90%以上あり、景気はますます悪くなる。	
雇用関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	-	-	
	変わらない	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・企業から送られてくる求人数や求人件数が少なくなっている。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・パート・アルバイトを欲しがらる層、ホワイトカラー、ブルーカラー、営業幹部系など、どの層も求人ニーズが非常に低調である。好調だった造船や鉄鋼関連も1～2年後の受注が冷え込んでいるため、求人が発生しない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・製造業や卸・小売業からの求人が大幅な減少となっている。
	悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・カーディーラー、不動産、ハウスメーカーなど軒並み広告出稿に慎重になっている。9月以降、明るい兆しが全くない。消費マインドが冷えているときに広告投下は厳しい。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・12月の新規求職者数は、前年同月比27.4%増となり、3か月前の1.9%増から、一気に25.5ポイント増加した。
民間職業紹介機関（所長）		周辺企業の様子	・県内大手企業においても人員計画を見直す傾向があり、正社員・派遣社員の人員整理を計画している企業がある。	